

- 17 : 回転体

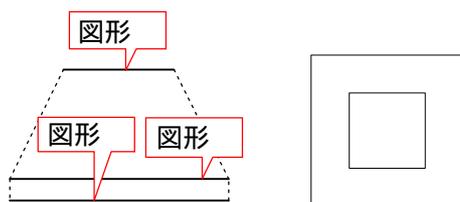
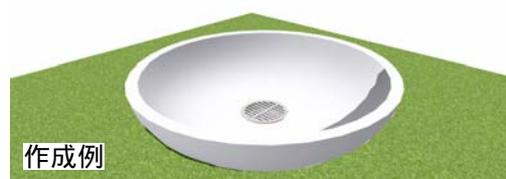
補助線を軸にして選択した3D多角形が回転する軌跡を図形にすることが出来ます。

補助線と3D多角形を描き、3D多角形をCtrlキーを押しながら補助線上でドラッグドロップするか、3Dメニューから回転体を選択します。

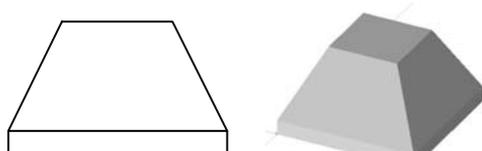
作成図形で回転体を選択し、OKを押すと回転体が作成されます。

回転体はデータパレットで分割数・円弧角度を編集できます。

テクスチャのスムージング機能と併用することで分割数が少なくても滑らかな曲面が作れます。



複数の多角形を同時に選択



多段柱体を作成



【多段柱体の図形形状について】

多段柱体を作成するとき複数の図形を選択します。選択した図形の形状が異なる場合、一番下にある図形の形が基準になります。

- 18 : 多段柱体

大きさの違う複数の図形を基準にした柱体を作成することが出来ます。

平面・立面を確認しながら各図形の位置を調整します。

基準になる図形をすべて選択し、3Dメニューから多段柱体を選択します。